

緑の未来協力隊 隊員報告

隊員プロフィール

氏名：藤井 美和子(ふじい みわこ)

赴任先：ネパール国・ラリトプール郡土壤保全事務所

出身県：京都府

活動分野：村落開発(土壤保全問題解決を通じたキャパシティ・ビルディング)

活動期間：2013年1月から2015年1月

【活動概要】

土壤に関わる問題を抱えたコミュニティが、どの様に事務所の技術的サービスを受けられるのか、女性や低カーストとされる人たちの声は含まれているのか、技術面解決後、コミュニティはどう変化して行くのかといった観点から、コミュニティのキャパシティ・ビルディングを目標に活動しています。対象地域は「灌漑用水路の完成⇒有効利用⇒持続した管理」を目指す山深い村で、薪を大量に使用する米地酒製造・販売が主な収入源となっています。住民たちは、灌漑用水路完成により、地酒製造から収入向上としての野菜栽培(土壤保全にも繋がる)へのシフトを目指しています。現在の活動目標である、コミュニティのキャパシティビルディングが、行く行くはこの収入源シフトに繋がり、更にはグリーン経済へと繋がっていく事を期待しています。

【感想】

対象地域では、人々は環境について想いを馳せるよりも、日々を生きて行く事に懸命に向き合っている状況です。しかし自らの収入向上の為の行為が、環境にどのような影響を及ぼすのかを考え、変化を起こしていける段階に繋げていくには、まず自らの考えを述べ、行動を起こせるコミュニティが必要です。男性・女性、カーストに関わらず住民が自らの想いを形にできるコミュニティ作りが、グリーン経済の実現には必要不可欠だと思います。

【今後の抱負】

郡内には、茶葉の栽培を通して土壤保全と収入向上を同時に成功させた村落があります。対象地域において、キャパシティ・ビルディングに取り組むと同時に、このような身近な成功事例を紹介し、選択肢を増やすお手伝いをして行けたらと考えています。



対象地域女性を対象とした土壤保全研修



灌漑用水路の現状把握&課題シェア